

■部会 Report

環境部会の活動紹介

環境部会長 山形 秀紀
(株)東洋設計 エネルギー事業部

(1) 環境部会会員

環境部会は現在 30 社 52 名で構成されています。部会員の構成は、風車メーカー/代理店 8 名、コンサル/エンジニアリング 23 名、事業者 15 名、O&M 4 名、その他 2 名です。

(2) 平成 27 年度活動報告概要について

環境部会では平成26年度から「風車音」、「鳥類」及び「環境一般」のワーキンググループ (WG) に改組し、これまでの活動を継続展開しました。また、平成25年度から政策部会とともに進めている「風力発電に係る環境アセスメント手続のあり方に関する調査」において、騒音、鳥類、景観、工事中の影響に関する各作業部会に対し、各WGによる検討および作業部会へ参画することにより、環境影響評価の迅速化・効率化の検討を継続して実施しました。部会および各WGでは下記のような活動を主に行いました。

1) 環境部会

- ①毎月 1 回の定例部会を開催し、活動報告や取り組みの検討等
- ②政策部会と合同で「風力発電に係る環境影響評価の課題に対する検討委員会」の開催、検討委員会傘下の合同会議および 4 つの作業部会との協働
- ③環境部会から以下の委員会等に参加
 - ・環境省：海ワシ類における風力発電施設に係るバードストライク防止策検討委託業務に委員参加し、成果物の手引き（案）について部会員の協力を得つつ、意見交換会の実現など業界意見の発信
 - ・環境省：3D レーダ技術を活用したバードストライク対策システムの開発・実証に委員参加

2) 風車音WG

①計測技術タスク

- ・計測・予測手法のサイト状況タイプごとの適用性を検討
- ・騒音実測データ（発生側・受音側）の収集、予測ソフトによる予測値と実測値の比較を実施

②制度政策タスク

- ・他国における騒音規制値・基準制度の整備状況と適用実態の調査を実施

③アセス助言書タスク

- ・アセス助言書対応／騒音・超低周波音作業部会との連携

④苦情分析タスク

- ・騒音等作業部会や JWPA パブリシティーへの苦情者視点からの注視

3) 鳥類WG

①知見の収集、整理、共有

- ・環境アセスメント学会2015年度大会（滋賀）、日本鳥学会2015年度大会（兵庫）、日本野鳥の会シンポジウム（東京）、コウモリ類と風力発電及び環境影響評価に関する勉強会（東京）等への参加と報告・共有

②アセス助言書対応/鳥類作業部会との連携

③普及啓発（シンポジウムの開催）に向けた検討→来年度開催に向けて引き続き検討

④その他、関係官庁等諸機関のアセス所管部署との意見交換会への参加と報告・共有

4) 環境一般WG

①「環境アセス図書に関する環境省とのQ&A」の傾向分析

- ・JWPA会員から提供されたQ&Aリスト（配慮書10件、準備書16件）の分析を実施

②環境アセス全般の関連情報の収集・整理・共有

③有識者との意見交換会の実施

- ・風力アセスにおける景観／東京農業大学
荒井准教授：平成27年8月25日
- ・風力発電の社会的受容性／名古屋大学 丸
山准教授：平成28年1月29日
- ・EUのグリッド政策と日本のアセスの考え方
京都大学 内藤特任教授：平成28年3月7日

(3) 平成 28 年度活動計画

環境アセスメントの迅速化、効率化を図ることを目的として、国内外の情報の収集、知見の集積、関係官庁等諸機関との連携に努めつつ、諸活動を展開していきます。今年度も風車音、鳥類、環境一般の 3WG を設置します。各 WG の平成 28 年度の事業計画の概要を以下のとおりです。

1) 風車音WG

- ①計測技術タスク
 - a) 騒音実測データ（発生側・受音側）の収集
 - b) 予測ソフトによる予測値と実測値の比較と特性の整理
 - c) 計測評価技術に関する国内外の動向把握
- ②制度政策タスク
 - a) 他国における特に静寂地域の騒音規制値・基準制度調査結果の分析
 - b) 風車音を規制する制度・政策に関する国内外の動向把握
- ③アセス助言書対応との連携
- ④苦情分析タスク
 - a) 風車騒音苦情に関連する動向把握
 - b) 風車騒音苦情の発生する背景の分析および騒音レベルと離隔距離などの地理的特徴の分析
 - c) JWPA パブリシティーへの苦情者視点からの注視

2) 鳥類WG

- ①知見の収集・整理・共有
 - a) 意見交換会（バードストライク対策主体へのヒアリング、鳥類有識者招聘等）
 - b) イベント等への参加と共有（環境アセスメント学会大会、日本鳥学会大会、関連す

る各種講演会・シンポジウム等への参加と情報共有)

c) 情報収集・蓄積・共有（環境・鳥類に関する研究報告、学会紙誌、環境省、経産省等の鳥類等関連情報、その他のソースからの情報収集整理と共有)

②普及・啓発

a) 「風車と鳥類」（仮称）シンポジウムの開催

③その他（研究開発テーマ）

- a) 発電所周辺で発見された鳥類の死亡事例（事業者等アンケート）の整理
- b) 死骸の残存率についての知見蓄積（研究）
- c) ブレード塗色効果検証（研究）

3) 環境一般WG

- ①「環境アセス図書に関する環境省との Q&A」の傾向分析
 - ・質問内容の属性、および時系列的な傾向を分析・整理
 - ・分析結果に基づき、効率的な Q&A のあり方について関係諸官庁と協議
- ②環境アセス全般の関連情報の収集・整理・共有
- ③専門家・有識者との意見交換会

(4) 部会、WG へのお誘い

今年度は風車音に関する目安が定められる動きがあり、環境アセスの迅速化、効率化を図るために、部会・WG の活動が重要な年となります。

環境部会では、環境アセスメントを中心とした動向や技術情報が豊富にあり、環境省や経産省などとの意見交換会も行われております。各 WG においても最新の情報収集を行い、環境アセスの必要な情報データの収集、検討を行っています。

そこで、協会員の皆様には積極的に部会・WG へ参加いただき、風力発電が直面している大きな課題と一緒に取り組んで頂ければ幸いです。WG 後には懇親会も時々開催されております。

以上